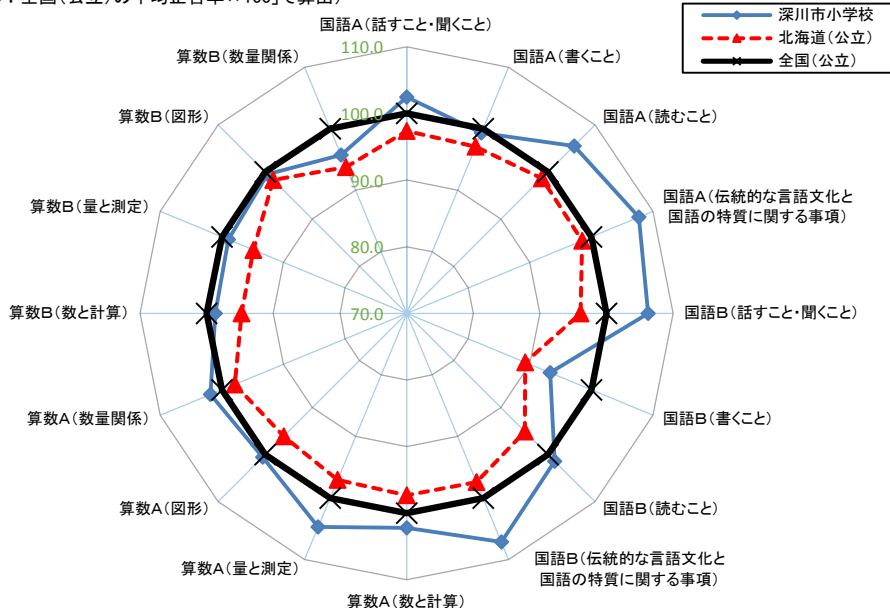


■ 深川市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:6校、児童数:132名)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを

(「市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100」で算出)



【児童質問紙調査】

(「市全体の児童の割合÷全国(公立)の児童の割合×100」で算出)

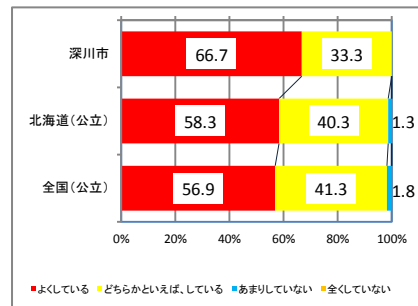
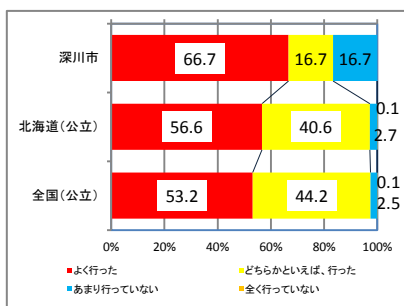
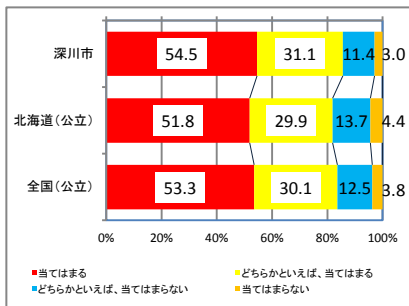
【学校質問紙調査】

(「市全体の学校の割合÷全国(公立)の学校の割合×100」で算出)

算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか。

学習方法(適切にノートをとる、テストの間違いを振り返って学習するなど)に関する指導をされましたか。

学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有していますか。



【分析】

教科	○ 国語A、国語Bの「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、算数Aの全領域で、全国平均を上回っている。	○ 「学習方法に関する指導」や「学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間での共有」をよく行った結果、基礎学力が身に付き、国語A・Bの「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、算数Aの全領域で、全国平均を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか」という質問に対して「当てはまる」と回答した児童の割合が全国及び全道平均を上回っている。	
学校質問紙	○ 「学習方法(適切にノートをとる、テストの間違いを振り返って学習するなど)に関する指導」や「学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間での共有」をよく行った学校の割合が全国及び全道平均を上回っている。	

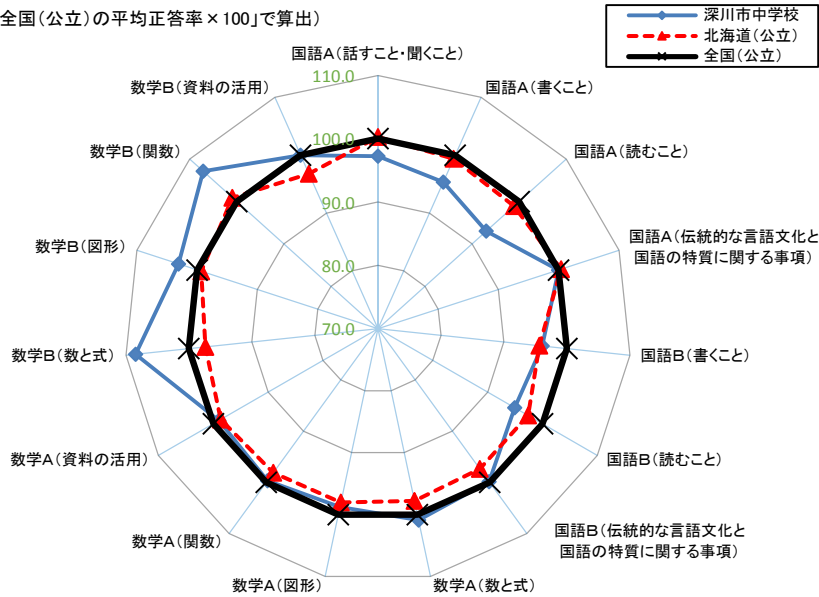
【深川市の学力向上策】

- ◎ 「学習サポートプログラム事業」による家庭での学習習慣の確立
- ◎ 市立図書館と連携した朝読・家読の推進
- ◎ 教職員の資質能力を高める研修への支援

■ 深川市内中学校の状況及び学力向上策 (学校数: 2校、生徒数: 153名)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 (「市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100」で算出)



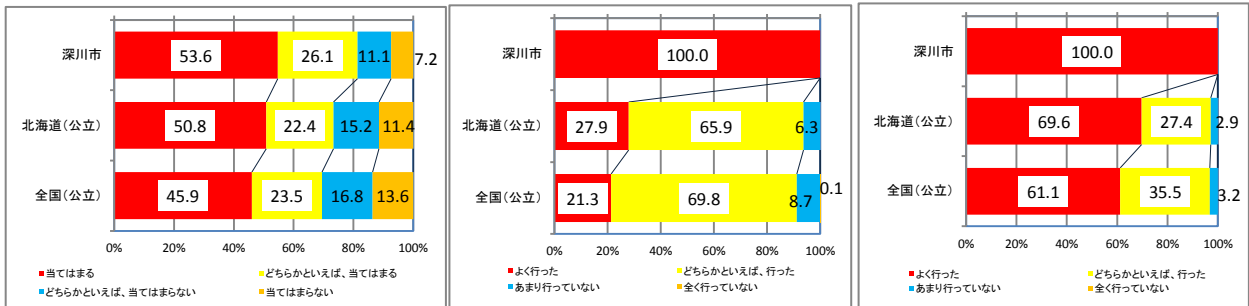
【生徒質問紙調査】

(「市全体の生徒の割合÷全国(公立)の生徒の割合×100」で算出)
 読書は好きですか。

【学校質問紙調査】

(「市全体の学校の割合÷全国(公立)の学校の割合×100」で算出)
 様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか。

学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話を
 する、授業開始のチャイムを守るなど)の維持を徹底しましたか。



【分析】

教科	○ 数学Aの「数と式」、数学Bの「数と式」「図形」「関数」で全国平均を上回り、国語Aの「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、数学Bの「資料の活用」で全国平均と同様になっている。	○ 「様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導」や「学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど)の維持の徹底」を全ての学校で行った結果、数学Aの「数と式」、数学Bの「数と式」「図形」「関数」で全国平均を上回り、国語Aの「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、数学Bの「資料の活用」で全国平均と同様になったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「読書は好きですか」という質問に対して「当てはまる」と回答した生徒の割合が全国及び全道平均を上回っている。	
学校質問紙	○ 「様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導」や「学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど)の維持の徹底」を全ての学校で行った。	

【深川市の学力向上策】

- ◎ 「学習サポートプログラム事業」による家庭での学習習慣の確立
- ◎ 市立図書館と連携した朝読・家読の推進
- ◎ 教職員の資質能力を高める研修への支援